

<白金標準、今年白金標準先物は 10000 円割れの 4 桁は買いの域・・・>



(出所：オアシス)

米国とイランの再協議が中止となり、ホルムズ海峡の閉鎖を米国とイランが行い、長期に渡り海峡の閉鎖が続く懸念が高まりを見せている。ただ週末にパキスタンで米国のウィトコフ氏およびクシュナー氏とイランのアラグチ外相が協議を行う可能性が週末は示され、リスク緩和に動きに白金標準先物は 10000 円を維持する値動きを見せている。

特に今年の白金標準先物は、高値 13779 円を試すも投機抑制から 8662 円まで下値を試し、利下げ期待の動きに 11983 円まで戻りを見せるもイラン戦争の勃発で 8478 円で下げ渋るとリスク緩和に伴い 10922 円まで戻している。しかし過去の安値から 2 日間で 9500 円を上回る戻りを見せている事からも中東情勢の不確実性の高まりを受けるも最終的には 10000 円を回復する値動きを示すなど底堅い値動きを見せている。また 5 月にはロンドンでプラチナパーティーが開催され、11 日以降 JM 社を皮切りにメタルズフォーカス、WPIC がプラチナの需給報告を 18 日までに行う事から、ホルムズ海峡の閉鎖のリスクで一時的に 10000 円を割り込む動きを見せるも、過去の値動きからも安値から 2000 円の値上がりを示しているため、今週の 10000 円割れは強気の対応が妥当に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げ、**シグナル** は上昇が止まり。RCI では**短期**が下げながら、**長期**は切り下げている。また日足が平滑移動平均線のレンジを下回っており、10000 円割れに備えるのが妥当に思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,125,000 円(2026 年 4 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 113,520 円(2026 年 4 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>